

令和8年度 学校経営方針

酒田市立浜田小学校 校長 門崎 由紀

I 「令和の日本型学校教育」の方向性（「中央教育審議会初等中等教育分科会中間まとめ」R2.10.7より） 『全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現』

一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え豊かな人生を切り拓き持続可能な社会の創り手となることができるようにすることを目指す。

II 酒田市の教育目標：『学び合い ともに生きる 公益のまち酒田の人づくり』

III 浜田小学校の理念：『じりつ（自立・自律） と 公益・貢献』

IV 浜田小学校の教育目標：『自ら考え、自らの力で生きる子どもを育てる』

V めざす子ども像

(1) はまだで育つ子ども

生活や地域から学びを創り、それを生活や地域に活かし貢献する子ども

(2) まっすぐな心をもつ子ども

まっすぐな心で他者と対話し(他者意識)、自分を高められる(自尊感情、学力・生活力)子ども

(3) だ(た)くましい子ども

自分(の生活)を見つめ、自己管理(自己育成)できるたくましい子ども

VI めざす教師像

(1) 温かな教育をする教師

子どもの思いや保護者の願いに共感できる教師

(2) 子ども主体に考える教師

子ども目線で物事を考え、教育活動を展開する教師

(3) 主体的に経営に参画する教師

学校経営に積極的に経営参画し、学校教育に貢献する教師

(4) ウェルビーイングを目指す教師

エージェンシーを育む授業や活動に積極的に取り組み、子どものウェルビーイングを高める教師

VII 重点目標：『まず「きく」そして「話す」』

※「きく」はあえてひらがな表記とし、様々な意味での「きく」を大切にすることはこれまでと同様。「きく」ことは、人を大切にする第一歩であり、「きく」ことで相手に心を開き、相手の思いを受け止めることで、自分の思いも伝え、人とつながっていく。これは、子ども同士、教師と子どもでも同じスタンス。面倒くさい、やりたくないなど伝え方が分からない、自信がない子に寄り添い、支え、育て、自己肯定感を高める。

VIII 経営・指導の重点

1 浜田ブランドの創造

- (1) 社会の変化に対応できる確かな学力の育成
- (2) 特別なニーズに対応した教育の推進

2 人間力の育成（じりつ支援：目標達成能力・コミュニケーション力・幸せ引き寄せ力）

- (1) 「いのち」の大切さを学ぶ教育の推進
- (2) 豊かな心と健やかな体の育成

3 公益・貢献の教育活動の推進（誇りと憧れ）

- (1) 公益・貢献を意識したカリキュラムマネジメントの推進
- (2) 持続可能な学校づくりの推進

Ⅸ 指導内容【市学校教育の重点基本方針―主要施策―施策】

1 浜田ブランドの創造

- (1) 社会の変化に対応できる確かな学力の育成
 - ① 授業改善の推進と学習習慣の確立
 - ア 学校研究を核とした授業改善の日常化
 - イ 相手意識を大切にした「きく」態度の育成
 - ウ CBT for School を活用した主体的な学習習慣の形成
 - エ 「根の力」を育む学習刺激のある切磋琢磨できる環境づくり
 - ② 組織的・計画的な指導と評価の工夫
 - ア カリキュラム・マネジメントによる組織的・計画的な指導
 - イ 評価を念頭においた単元計画による指導
 - ③ 学ぶ楽しさやよさを実感できる理数教育の推進
 - ア 教科担任による理科指導
 - イ 算数科の少人数・T T指導による個別指導
 - ④ 交流や発信を通した英語によるコミュニケーション能力の育成
 - ア 視聴覚機器を活用した外国語指導の工夫
 - イ A L T・外部指導者の積極的活用
 - ⑤ ICT の活用による情報活用能力の育成
 - ア タブレットを活用した指導の個別化・学習の個性化
 - イ ICT 環境の整備とオンライン交流への挑戦
 - ⑥ 将来を見据えた計画的なキャリア教育の推進
 - ア 地の利を生かした地域人材、地域素材の活用
 - イ 勤労観・職業観を育成する学習機会の提供

(2) 特別なニーズに対応した教育の推進

- ① インクルーシブ教育システムの推進
 - ア 家庭との信頼関係に基づく通級指導、個別面談の推進
 - イ 自己理解、他者理解を進めるトレーニングの実施
- ② 子どもの実態に即した適切な「特別の教育課程」の編成と実施
 - ア 丁寧な児童理解と将来を見据えた個別指導
- ③ 全職員の理解に基づく校内支援体制の充実と切れ目ない支援
 - ア 全職員で全校児童を育てる情報共有とチーム支援
 - イ 関係機関との情報共有と連携による児童支援

2 人間力の育成（じりつ支援：目標達成能力・コミュニケーション力・幸せ引き寄せ力）

(1) 「いのち」の大切さを学ぶ教育の推進

- ① 自他の命や生き方を大切にする教育の推進
 - ア 自尊感情を高める小さな自己決定の積み上げ
 - イ 多様性を尊重する態度の育成につながる人権教育
 - ウ SDG s を意識したグローバルな地域学習
- ② 夢や憧れを育み、自己実現につなぐ教育の充実
 - ア 世界観、価値観を広げる家読、読育とミライニの積極的な活用
 - イ 自分たちの課題を自分たちで解決する自治力を育む児童会活動
 - ウ 将来の夢の種をまく外部講師の招聘、体験学習、交流学习
- ③ 深い価値理解を基にした道徳科の実践と道徳教育の充実
 - ア 自分の強み、弱みと向き合うメタ認知能力を育てる道徳教育
 - ※ 自分の思考や学習過程を客観的に認識し、調整する力
 - イ よさを認め合える「仲間」関係の形成と規範意識の醸成
- ④ 「居場所づくり」「絆づくり」を土台にしたいじめ・不登校の未然防止と早期発見・早期対応

- ア いじめを許さない毅然とした指導とチームで見守り育てる相談体制
- イ 発達支持的生徒指導を基盤とした学級経営とQ-Uの活用による児童理解

(2) 豊かな心と健やかな体の育成

- ① 家庭・地域と連携した望ましい生活習慣の形成と食育の推進
 - ア 自分事として考え実行する健康管理
 - イ アレルギー対応と「心・からだ・おこない」づくりのための食育指導の充実
- ② 豊かなスポーツライフの実現に向けた体育授業の充実と運動の日常化
 - ア 『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方を目指す教科体育
 - イ 体を動かすことが好きな子を育てる休み時間と運動環境の確保
- ③ 生活安全・交通安全・災害安全にわたる体系的な安全教育の実践
 - ア 自分の命は自分で守る力を育てる防災年間計画の改善
 - イ 浜田小学校防災マニュアルダイジェスト版の周知と活用
- ④ 学校や地域の実情に応じた危険予測・回避能力等の育成
 - ア さまざまな具体的事例から学び、生活に生かすための知識やスキルの定着
 - イ 酒田防災ハンドブックの効果的な活用

3 公益・貢献の教育活動の推進

(1) 公益・貢献を意識したカリキュラムマネジメントの推進

- ① 地域全体を学びのフィールドにした魅力ある授業や活動の充実
 - ア カリキュラムマネジメントを意識した「単元開発」と「材探し」
 - イ 学びの積極的な発信を通して地域の発展に貢献する心の育成
- ② 地域の特色や実情に応じた郷土愛を育む活動の充実
 - ア 地域に根差した教育活動の推進
 - イ 伝統文化を受け継ぐ特色あるクラブ活動

(2) 持続可能な学校づくりの推進

- ① 信頼される学校づくりを推進する教職員研修
 - ア 各種研修会等への積極的参加を通して学び続ける教師
 - イ スクール・コミュニティ構想を踏まえた小中一貫教育
- ② 子どもとじっくり向き合う時間の確保
 - ア ライフワークバランスを大切にしたメリハリのある生活
 - イ 地域の教育力を生かすスクールサポーターの導入
- ③ 安心安全な教育環境の整備
 - ア 新しい生活様式の定着
 - イ ユニバーサルデザインの視点と子ども目線に立った個別の合理的配慮
- ④ 学校・家庭・地域の役割に基づいた、対話と交流の積み上げ
 - ア 温かい同僚性を基に持続可能な新たな連携の在り方の構築
 - イ 学校全体のウェルビーイングの向上